

未来へ

ふるちゅうと
子どもたちを守って



私も、私の家族も
これ以上被ばくしたり
食べ物、飲み物の心配を
したくありません。

大事故寸前のところで
なんとか止まった
東海第二原発。

茨城県民に

再稼働を認める

理由はありません。

安心して住める。

安全な農作物や魚で

喜んでもらえる。

そんな暮らしと命を

守りたいです。



あわや大事故寸前だった 東海第二原発 3・11～15



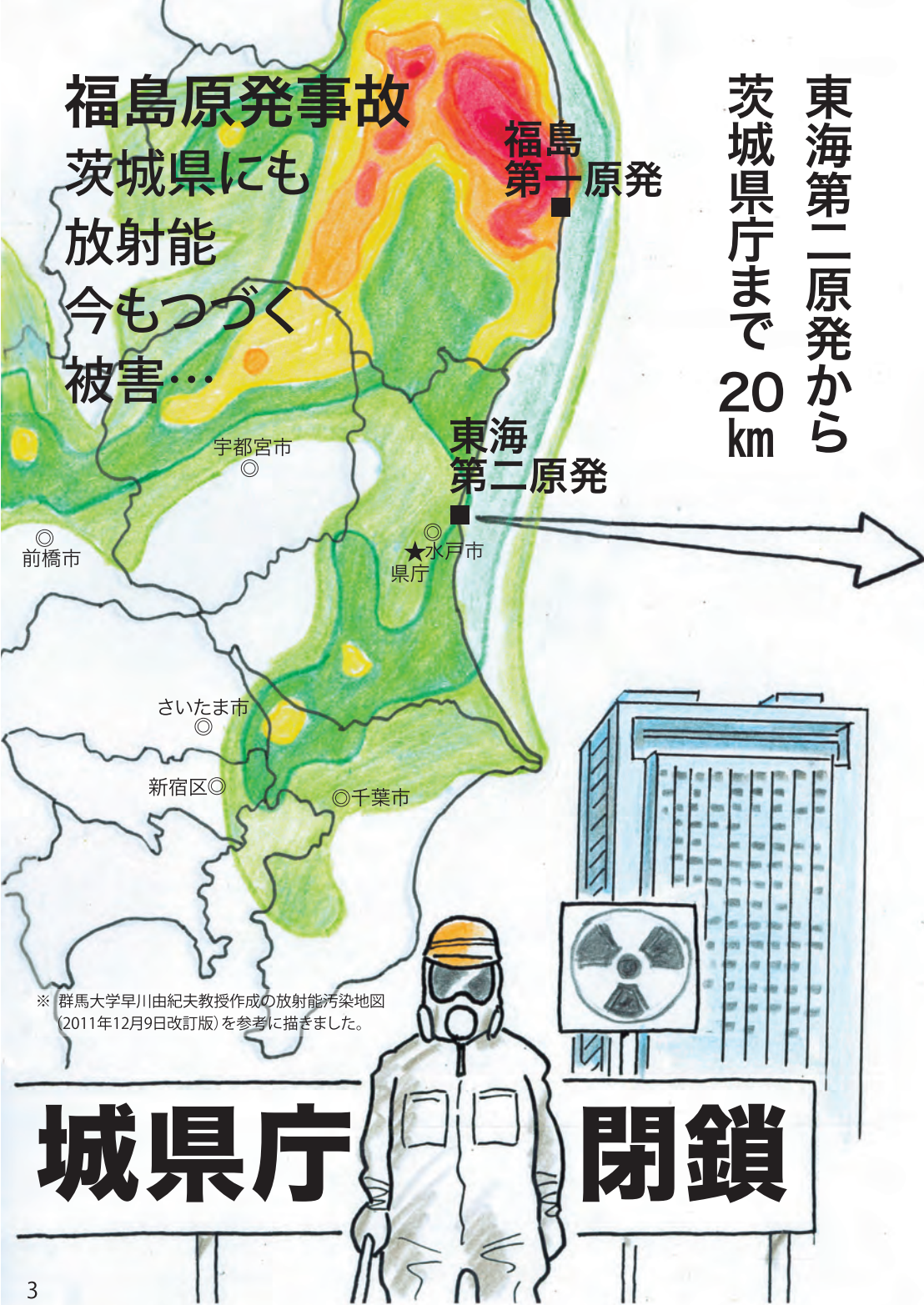
三日半かかったけれど、やっと冷温停止した

これで家に帰れる…

マルチダウンの可能性もあった
東海第二原発

外部電源が喪失し非常用ディーゼル発電機3台が起動。しかし津波が未対策部分から侵入し1台が停止。核燃料冷却力不足の綱渡りが続く。通常は1日なのに3日半かかって原子炉の中の冷却水が百度以下の冷温停止状態に。

東海第二原発から
茨城県庁まで
20 km



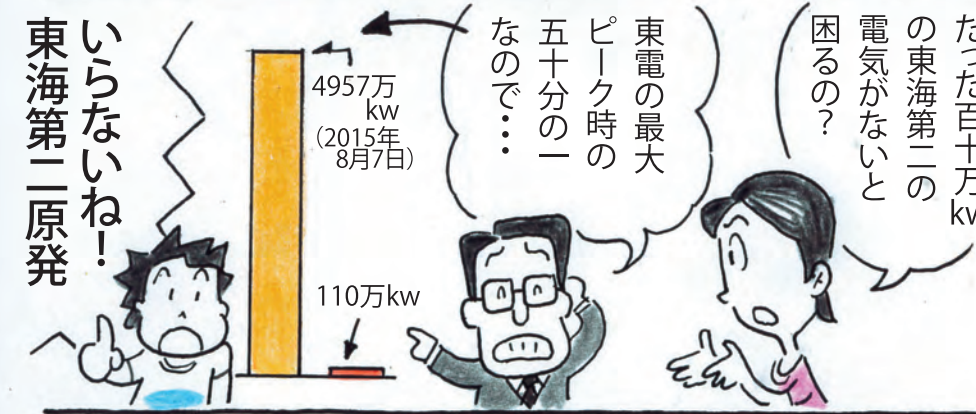
福島原発事故
茨城県にも
放射能
今もつづく
被害…

宇都宮市
前橋市
さいたま市
新宿区
千葉市
★水戸市
県庁

※群馬大学早川由紀夫教授作成の放射能汚染地図(2011年12月9日改訂版)を参考に描きました。

茨城県庁 閉鎖

電力販売ゼロの平成27年度でも 1153億円の収入—日本原電(株)



**電力9社が作った
原発のための会社**

従業員約千人の、日本原子力発電(株)は、電力会社九社が出資して作った会社。そのため社長は東電と関電から交互に、株主の電力会社は原電から電気を買取る義務が。

そして発電していなくても会社の維持管理費を支払っていて、それはもちろん私たちの電気代から自動的に徴収中...

20年運転 延長の先には

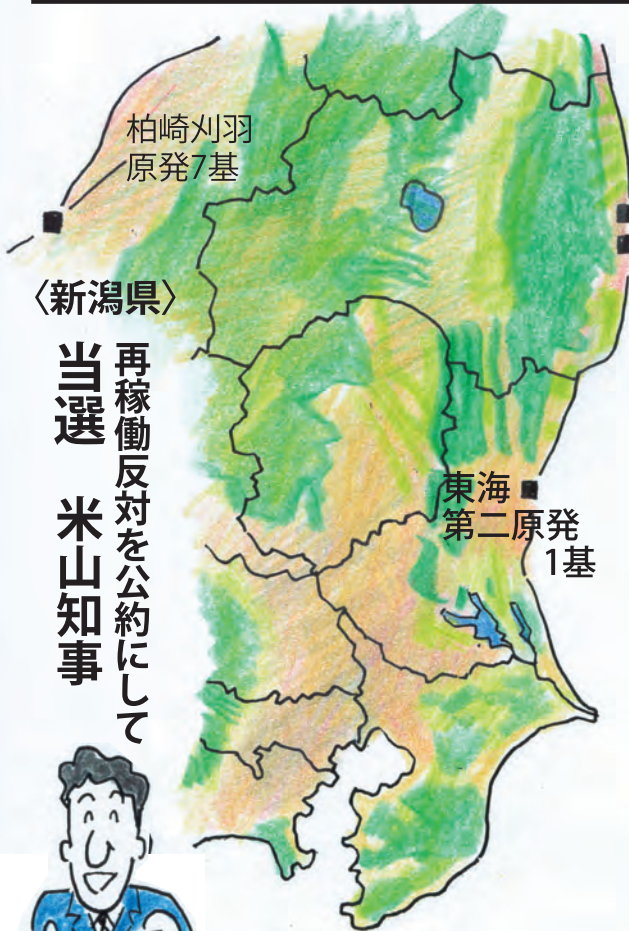
原子力規制委員会はすでに3基の60年運転を認可...

**現在、
東海第二原発が
審査中...**



原発再稼働反対！

県民の安全安心を守るのは知事の役目



福島第一原発6基
福島第二原発4基

〈福島県〉

内堀知事が「県民の強い
思い」として国と東電に
第二原発の廃炉も要求。

2040年頃には、県内エネルギー需
要の百パーセント相当量を再生可能
エネルギーで生み出すことを目標に。



これからは
再生可能
エネルギー
ね！



東海第二原発
で事故を起こ
せば福島にも
東京にも放射
能が！

作れますか？ 実効性のある 100万人避難計画



県に避難計画策定義務があるのは、原発から30キロ圏。それだけで100万人。福島原発事故クラスの事故が発生すれば関東圏で数千万人が避難!?…そんなこと不可能!